

# 発酵青バナナで免疫力UP

## 「バナフアイン」供給を開始

ファーマフーズ

バイオベンチャーのファーマフーズ(京都市西京区、☎075・394・8600)はこのほど、青果物生産販売大手のドールと共同開発した発酵青バナナ由来の新規機能性素材「バナフアイン」の原料供給を開始した。バナナは世界的に最も食されている食品の一つであり、価格も安定して

いる。同社は、バナナの免疫賦活を開発テーマに掲げ、ドールと本格的な研究を開始した。バナナは全世界で年間約1億200万トン(2012年)生産されるが、収穫後の選定により形状の問題等から未利用なものが出てくる。その未利用な青バナナの果実部を原料とし、独自の技術である酵素分解と酵母で処理し発酵させたのが「バナフアイン」である(特許出願中)。発酵により、水に溶けやすくほのかな甘みを持つことからさまざまな食品に利用することが可能。

これまでの研究から、バナフアインの摂取により免疫賦活効果が高まることをヒトボランティア試験で確認している。その結果、免疫賦活の指標であるNK細胞活性が有意に増強され、IFN-γが有意に増加した。また各種アンケートにおいて、倦怠感の有意な改善、抑うつ、活気、風邪の引きやすさ等の項目の改善傾向が示唆された。この結果から、バナフアインはバランスよく免疫力を高めることが期待される。

さらに、京都府立医科大学の松田修教授らとの共同研究により、バナフアイン摂取によるインフルエンザの予防効果を調べた。濃度を変えたバナフアインを10日間投与したマウスと与えなかったマウス各10匹をインフルエンザウイルスに感染させ、感染後2週間の生存率を比較した。この結果、14日後の生存率は未投与のマウスでは50%だったが、高濃度を投与したマウスでは90%が生きていた。バナフアインを投与したマウスから取り出した脾臓細胞に刺激物質を加えると、感染時の防御を担うサイトカインが亢進し、自然免疫を高めることがわかった。この結果から、生存率の改善は、バナフアインによる自然免疫賦活効果および体力向上効果に起因すると考察している。

年内には、ドールから同素材を配合した新商品の上市が予定されている。

ファーマフーズの金武社社長は、20年バナナを切らしたことがないとい、国内外の出張にも携帯するほど。「栄養とエネルギー補給にこれほど適した食べ物はない。バナナの価値観を変えていきたい」と話す。